

現代社会

第4問 問1 「22」

GATTとWTOの原則にあてはまる事例を考える問題で、各学力層で差がついた

問1 下線部③に関連して、GATT(関税及び貿易に関する一般協定)及びWTO(世界貿易機関)の原則にあてはまる事例を、次のア～ウからすべて選んだとき、その組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 22

ア 関税の引き下げや、輸入数量制限の撤廃を進める。

イ 外国為替相場の安定のために、固定為替相場制を導入する。

ウ 輸入品に対して適用される税や法令について、同種の国内産品に対して与える待遇より不利でない待遇を与える。

① アとイとウ

② アとイ

③ アとウ

④ イとウ

⑤ ア

⑥ イ

⑦ ウ

⑧ あてはまる事例はない

第4問 問1 「22」

正解率 23.5%

SS70～75 61.0%

SS65～70 47.4%

SS60～65 36.0%

SS55～60 28.0%

SS50～55 21.9%

SS45～50 17.9%

2022年度第1回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「現代社会」

受験者数: 51,862人

平均点: 44.2点

標準偏差: 15.2

現代社会

第4問 問1 「22」

GATTとWTOの原則にあてはまる事例を考える問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第4問の問1は、GATTとWTOの原則が「自由・無差別・多角」であることを理解したうえで、貿易に関する具体的な事例が原則にあてはまるかを考察する問題で、各学力層で差がつかしました。

第二次世界大戦の反省から、自由貿易を促進するためにGATTが設立されました。まずは、自由貿易を促進するために定められたGATTおよびWTOの原則についての正確な知識が求められ、さらに、知識を身につけたうえで現実社会の出来事と関連づけて整理することができているかが問われました。

指導のご提案

現代社会の共通テストでは、本問のように、学習した項目が私たちの社会のなかで実際にどのような事例としてあらわれているかを押さえることも重要です。これからの2か月で実戦的な問題演習を重ねるとともに、既習事項を改めて整理しなおし、ニュースなどを通して現実社会との関係を確認することが大切です。

さらに、共通テストでは、図やグラフ、表、文章などの資料を読解して、知識と組み合わせ判断する問題が出されます。既習の知識のみでは解答できないこともあるので、限られた時間のなかで情報を整理し、問題に解答する練習を重ねることをご提案します。